

当院を受診された患者さんとそのご家族および代理人の方へ

当院では下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、連絡期間内に、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

受付番号	20210090
研究課題名	新型コロナウイルス感染症に対するハイフローネーザルカヌラの有用性の評価
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 集中治療科 / 加藤 由美
連絡期間	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、2023年3月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
研究の目的と意義	新型コロナウイルス感染症に関するデータは未だ不足しており、世界中でより効果のある治療は何か、模索されています。酸素療法の一つであるハイフローネーザルカヌラが本疾患の治療に有用な可能性があり、当院ではその治療効果について評価、解析し将来の治療に役立てたいと考えております。
研究の方法	ハイフローネーザルカヌラを使用した患者様の電子カルテのデータより、有用性の評価に必要な下記の項目を記録・観察させていただきます。記録する項目は匿名化して保存され、そのデータから個人が特定されることはありません。通常診療で記録されるカルテのデータのみを用いますので、研究のために皆様に検査・処置・アンケートなどいかなるご負担もおかけするものではありません。
対象者	西暦2021年9月1日～2022年3月31日の間に、新型コロナウイルス感染症（PCR、LAMP法などの血清学的診断または抗原検査で確定診断の得られたもの）にて当院に入院した成人の方で入院中にハイフローネーザルカヌラを使用した方。
利用する試料/情報	◎研究対象者背景：性別、年齢、身長、体重、併存疾患（高血圧症、糖尿病、慢性腎不全、心疾患、慢性肺疾患、悪性腫瘍、免疫不全）、喫煙歴の有無 ◎新型コロナウイルス感染症の発症/診断から入院までの日数 ◎入院日数、ICU/EICU在室日数、転帰 ◎ハイフローネーザルカヌラ使用中のバイタル： 1日1回 SpO2、呼吸数、バイタル測定時のハイフローネーザルカヌラの酸素濃度（上記よりROX indexを算出 $SpO_2 / (FiO_2 * RR)$ ） ◎入院時とハイフローネーザルカヌラ開始時の採血データ： 末梢血算：白血球数、リンパ球数、血液生化学：総ビリルビン、AST、ALT、BUN、クレアチニン、CRP、D-dimer、フェリチン ◎COVID-19感染症に対する下記治療の有無 レムデシビル、バリシチニブ、ステロイド、腹臥位療法
研究組織	「当院単独研究」
試料/情報の院外提供	「該当なし」
研究資金源	研究者の私費で実施します。
結果公表	研究結果は将来学会で報告予定ですが、具体的な学会名や発表時期は未定です。
研究終了後の試料/情報の取り扱い	研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、匿名加工情報として廃棄します。
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 集中治療科 / 加藤 由美